



◇関連質問

- ・市中心部のマンション対策を考えた総合計画策定(公明党)
- ・第四次総合計画策定(誠友会)

ユニバーサルデザインのまちづくり (公明党)

問 障害者や高齢者をはじめ、

どのような人でも快適に外出できる、誰にも優しいユニバーサルデザインのまちづくりの要件の一つであるトイレの普及と、タウンモビリティの推進について、今後の取り組み方針は。

答 公共施設のトイレは、これ

までも洋式化に取り組んでおり、現在約半数のトイレで洋式化が進



電動スクーター貸し出しの様子(ばら祭会場)

んでいる。今後も、ユニバーサルデザインの視点に立ったトイレ整備に努めていく。

また、タウンモビリティについては、市民グループが中心になって取り組まれ、現在2カ所を拠点とし活動されている。今後行政として何ができるか研究していく。

◇関連質問

- ・福祉型の道路整備など総合的な生活環境の整備(市民連合)

パブリックコメントへの関心度 (明政会)

問 第四次総合計画の基本構想

の策定に当たり、パブリックコメントを実施したが、その応募状況を他市と比べると、市民の関心度はあまりに低い。

実施に当たり、ホームページや広報紙に単に掲載するだけでなく、地域の各種民主団体などにセルスに出かけることも必要と考えるが、

答 これまでも、市政全般や各

行政分野の政策の策定に当たり、個別の事案ごとに市民アンケートやパブリックコメントを実施し、市民の意見を市政に反映できるよう取り組んできた。

市民の市政への関心度をより一層高め、市民参加によるまちづくりを進めるため、統一的な制度の導入を検討している。

鞆港埋め立て架橋計画と町並み保存 (水曜会)

問 市長は、鞆の町並み保存と

架橋事業を一体的に整備することとし、計画実現に向けてさらに積極的な姿勢を示されたが、建物調査の実施、基金の創設、県との連携などの具体は。



鞆地区道路港湾整備事業の整備後のイメージ写真

答 鞆地区道路港湾整備事業に

ついては、県と市が共同で事業を実施することとし、現在、できるだけ早期の埋め立て免許の出席に向けた準備を進めている。

鞆の町並み保存は、平成9年、10年の調査以来年月が経過し、建

物の老朽化など状況に変化が生じており、3月までに現状の確認調査を行う。

町並み保存事業のための基金創設は、建物の状況から、3月議会に基金条例案の提出を考えている。

◇関連質問

- ・新年度に向けた取り組みの基本とスケジュール(市民連合)
- ・鞆港埋め立て架橋計画(日本共産党)

新年度予算編成はどのよう (水曜会)

問 本市の財政見通しは、一般

財源は減少し、歳入面の財政環境は厳しい状況であると予測され、一方、歳出面でも財政需要は今後も増大すると予測されるが、どのような予算編成になるのか。

答 三位一体改革による税源移

譲や定率減税の廃止などから、市税は増加するが、それに伴う所得譲与税などの廃止や、地方交付税の減少が見込まれ、一般財源総額は本年度を下回る見込みである。

一方、歳出は、児童福祉関係などの扶助費や、大量退職による退職手当の増加など義務的経費の大

※タウンモビリティ：長距離の歩行が困難な人に電動スクーターや車イスなどを貸し出して、移動を支援する仕組み。